報告

はじめての LOC

斉藤秀樹（長野市立博物館／京都大学大学院理学研究科）

1．はじめに

2012 年 12 月 1 日（土）から 2 日（日）にかけて長野市で天文教育普及研究会中部支部会を開催した。1 日目の会場は長野工業高等専門学校、2 日目の会場は長野市立博物館の 2 会場で行った。今回私ははじめて研究会の Local Organizing Committee（以下、LOC）を経験した。そこで思ったことを簡単にまとめておくことにする。

2．会場の決定

私は 2012 年 3 月まで近畿支部の方で活動していたが、縁あって中部支部に所属することになった。そこで 6 月にディスカバリーパーク焼津で開催された中部支部会に参加し、「都市部における新たな観望会スタイルの提案と実践」というタイトルで口頭発表を行った[1] [2]。中部支部会で発表するのは初めてだったので、市立博物館の宣伝も兼ねて、前半に市立博物館の宣伝と日食観察会の報告を行った[3]。そこでの発表の甲斐あり、次回の支部会候補地として挙げてもらえたようだ。そして最終的に支部会の会場が決まったのは、9 月下旬頃であった。

図 1　2 日目の研究会の様子

3．支部会当日

1 日目、長野県内は朝から雪が舞い、遠方から車で来られた方々は大変な思いをしたようだったが、特に大きな混乱もなく、実施することができた。2 日目は打って変わって、朝はいい天気に恵まれた。

研究会 1 日目は一般的な教育普及活動についての発表。2 日目は主に日食セッション（図 1）と 2013 年の展望ということで、2 つの大彗星と銀河系中心ブラックホール Sgr A*へのガス雲落下イベントについて話し合われた[4]（図 1）。

個人的にも「街中でみる天文学 ～天体観望会による教育普及活動～」というタイトルで口頭発表を行い、多くの意見、アドバイスをいただくことができた。私が関わってきた街中観望会を例に、長野で新たに実施した・企画している観望会について簡単に紹介した[1] [2] [5]。こちらに関してはまたの機会に詳しくまとめたいと考えている。

また、研究会の最後には来年の支部会会場についても話し合われた。地方の支部会は公共の交通網が発達しているわけではないので、宿泊型の支部会になる傾向が強い。そのため“夜の部”も含めて、今から楽しみである。

4．オプショナルツアー

研究会を開催するにあたり、見学施設がある方がいいのではないかということで、今回も希望者だけにオプショナルツアーを組んだ。これは去年の 6 月にディスカバリーパーク焼津で開催された中部支部会でも同様に施設見学（望遠鏡、プラネタリウム）が行われている。

- 13:30〜　天文台見学（図 2）
- 14:00〜　プラネタリウム投影
- 14:50〜　館内展示見学

図 2　天文台見学

5．おわりに

今回はじめて研究会の LOC を行った[6]。また、長野市立博物館で支部会を行うのは今回が初めてであったので、館内の職員にもこのような天文活動があるということを周知することが少しはできたのでよかった。個人的には、新たな出会いもあり、協力して新しい場所・企画で天文教育普及活動ができそうである。また、会員はもちろんだが、市立博物館にふらっと立ち寄った方が研究会に参加するということがなかったのが残念だった。会の中だけで閉じているのではなく、市民にこのような活動を広めていければと考えている。

最後になりますが、宿泊の手配などは長野高専の大西浩次さん、プログラムなど研究会のまとめは中部支部長で生涯学習センターハートピア安八の船越浩海さんにお世話になりました。また、市立博物館や中部支部のみなさんの協力で大きな混乱もなく、研究会を終えることができました。たくさんの関係者のみなさんにこの場を借りてお礼申し上げます。そして機会があれば、次は暖かい時期の市立博物館（図 3）にお越しください。

図 3　長野市立博物館の外観（春）

文　献

[1] 斉藤秀樹ら（2013）「学生と星のソムリエ 京都が織り成す新たな観望会スタイルの可能性」，第 26 回天文教育研究会集録，投稿中

[2] 成田直ら（2012）「大阪ステーションシティで観望会！」，天文教育，Vol.24，No.1，pp.23-25

[3] 斉藤秀樹，陶山徹，是枝敦子（2013）「長野市立博物館の宣伝と観察会の報告」，第 26 回天文教育研究会集録，投稿中

[4] Gillessen et al. (2012)　“A gas cloud on its way towards the supermassive black hole at the Galactic Centre”, Nature, 481, pp.51-54

[5] 斉藤秀樹（2012）「大阪の街中で夜空を楽しむことができますか？」，天文教育，Vol.24，No.1，pp.35-40

[6] 斉藤秀樹ら（2013）「第 21 回中部支部会報告」，天文教育，同号掲載

斉藤 秀樹